岡山孤児院跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区門田屋敷1-3　岡南キリスト教会	

中世山陽道

設置位置	表示内容
所在地　岡山市中区国府市場99-5	

中世山陽道

古代、備前国の国府は、現在の市場に建つ国府宮辺りにあったと推定されています。一方、当時の山陽道は都と大宰府を結ぶ大動脈として最重要道路に指付けされていて、現在の市場から中庄で旭川を渡り津高へと通じながら、国府への連絡道として中庄から国府へは国府支路が分岐していました。

中世になり、かつての山陽道は最上流から衰退し、ルートも度々変わりましたが、国府への支路は残り、中世山陽道の一部となっていきました。

当地を通る中世山陽道は、現在の福浜天満宮辺りで吉井川を西へ渡り、度々ルートを変えながらも古都津へ至り、さらに西下して当高島公民館前を通過、三野渡し（酒津し）で旭川を渡り、平田山麓の福崎市場手へと通じていました。

[illegible]

伊木家下屋敷長屋門

平面図		表示内容
所在地	岡山市中区小橋町1丁目3-7付近	

備前八幡宮

平面図		表示内容
所在地	岡山市中区八幡東町1付近	

岡山藩医学館・大病院跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市中区東山1丁目1 東山公園	

富山小学校建学之地

平面図		表示内容
所在地	岡山市中区福泊342-1　JA岡山富山支所	

祇園大樋

平面図		表示内容
所在地	岡山市中区祇園596付近	

祇園大樋

この樋は、土木建設の天才として知られた津田永忠が沖新田などの新田開発を行った際、大量の灌漑用水の必要性から、元禄5年(1692)、彼の指揮のもとに築造されたと伝えられています。その巨大さから、長造場所が地名に因んで祇園大樋と呼ばれるようになりました。

祇園大樋とは、通称で発樋(地樋)樋、石樋、瓦樋、八幡樋、後楽園用水樋門、分流樋樋門と呼ばれる6樋門の総称です。昭和56年(1981)からの改修工事で地樋(発樋)樋と石樋を1樋の樋としたため、現在は5樋門となっています。

当樋が引給する用水は、後楽平野一帯の水田の灌漑のみに止まらず、かつては御城(現後楽園)へも引給され、流域住民の生活用水としても利用されるなど、幅広く活用されながら現在もその重要な役割を担い続けています。

(資料提供：岡山市立高島小学校郷土クラブ)

岡山市

大師駅跡

平面図	表示内容
所在地　岡山市中区関279付近	

玉井宮東照宮本殿

平面図		表示内容
住所	岡山市中区東山1丁目3-81	
地番（公図）	岡山市東山1丁目1099番地	

喜兵衛様祭祠堂・墓所

平面図		表示内容
住所	岡山市中区土田997付近	
地番（公図）	岡山市中区土田1111番、1112番	

素盞嗚神社

平面図	
住所	岡山市中区祇園168
地番（公図）	岡山市中区祇園字長盛168番728

表示内容

岡山歴史散歩　ーまちの歴史を知るー

素盞嗚神社

応仁の乱の頃（1470年代）、熊野神社（和歌山県）の神官で鈴木某という人が京都から祇園社の分霊を背負ってこの地に辿り着き、祠を建てて祀ったのが始まりと伝えられています。京都の本社にならって祇園社（祇園宮とも）と命名され、近隣の村も祇園と呼ばれるようになったそうです。

正徳２年(1712)、祇園社が病魔退散に格別の霊力があることに注目した池田綱政公が、当時蔓延していた疫病退治の願いを込めて、また岡山城の鬼門の方角にあったこの神社をお城の守護神とするため、改めて京都の祇園社から祭神を勧請して、社殿も相応の格式とすべく新築しました。現存する社殿は当時のものであり、社殿の中には池田家から奉納された絵馬が多数飾られています。

その後、明治維新の神仏分離令により、祭神の名にちなんで「素盞嗚神社」と改称しました。

祭神：素盞嗚尊、稲田姫命、豊玉姫命

参考文献：岡山市高島公民館：『高島の風土記』

島村寿男著：『祇園村落考』

（看板提案：岡山市立高島公民館歴史グループ）

岡山市

三蟠軽便鉄道線路跡

平面図		表示内容
住所	岡山市中区平井6丁目3-13付近	
地番（公図）	岡山市中区平井五丁目16番5	

岡山歴史散歩　ーまちの歴史を知るー

さんばんけえべんてつどうせんろあと

三蟠軽便鉄道線路跡

三蟠軽便鉄道は大正４年(1915)８月11日に運行が開始されました。かつて、倉安川交差点内に倉安川にかかる鉄橋があり、左下の写真は鉄橋を渡る三蟠軽便鉄道を撮影したものです。

最初は、海の玄関口と呼ばれていた児島湾に面した三蟠港から桜橋を結び、主に工場へ石炭や女工さんを運ぶために貨車と客車の混合列車を走らせていました。さらに、大正12年(1923)２月５日に国清寺まで延伸され、次第に観光客や釣り客にも人気となりました。一時は年間10万人を超える人々の生活の足として利用されていたそうです。

しかし、昭和６年(1931)に鉄道用地の主要部分が岡山市の都市計画道路（現在の岡山玉野線）に飲み込まれることとなり、同年6月30日に三蟠軽便鉄道は幕を閉じ、わずか15年10カ月余りの短命に終わりました。

右下の写真は、昭和48年頃に倉安川交差点付近を撮影したもので、取り壊された鉄橋の橋台が写っています。

参考文献：三蟠鉄道研究会：『三蟠軽便鉄道　開通100周年記念』

（看板提案：三蟠鉄道研究会）
岡山市

倉田新田と沖新田

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区桑野715-2	

凡例

※ ：設置位置

唐人塚古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区賞田376付近	

藤原駅跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区藤原西町1丁目4付近	

岡山放送局の初代局舎

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区赤坂台474-2	

岡山歴史散歩　―まちの歴史を知る―

多言語での説明はこちらから

おかやまほうそうきょく　しょだいきょくしゃ

岡山放送局の初代局舎

この建物は、昭和6年(1931)に開局し昭和36年(1961)まで使われた日本放送協会岡山放送局の初代局舎です。かつては両脇に高さ50mの鉄塔がそびえ、県内一円に電波を飛ばしていました。

写真（下）手前側の、屋根が一段高くなった部分の下にはスタジオがありました。出窓は内部の静けさを保つために3重構造になっています。

岡山放送局は、ラジオ電波を全国に行き渡らせる方針のもと国内10番目に作られました。岡山放送局以前に作られた放送局舎で創建当初の姿を残すものはありません。

（看板提案：赤坂台町内会）
岡山市

異人館跡・薇陽学院跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区御成町1118-2	

凡例

✖ ：設置位置

荒手屋敷

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区古京町一丁目7-36	

岡山歴史散歩　ーまちの歴史を知るー

多言語での説明はこちらから

あらてやしき

荒手屋敷

荒手屋敷は、岡山藩池田家筆頭家老である荒尾家の請地でした。寛永9年(1632)の国替えで池田光仲と共に荒尾家が鳥取藩へ移った後、池田光政の筆頭家老を務めた伊木家の請地となりました。約4500坪の広さで、屋敷の南側約2800坪が邸宅・茶席・庭園として使われていました。

第14代当主の伊木忠澄（三猿斎）は茶人として名高く、荒手屋敷で茶席の増築や庭園整備に趣を凝らしました。荒手屋敷は昭和14年の河川改修で消失しており、屋敷にあった邸宅や茶席は県内外へ移築されています。

市内では、茶席（利休堂）が逢沢家の庭へ移設されています。後楽園の外苑にある荒手茶寮も、元は邸宅の一部が移築されたもので、昭和20年6月の岡山空襲で焼失し、後に再建され現在に至っています。

また、相生橋の名前は荒手屋敷にあった「相生の松」が由来とも云われています。

（看板提案：伊木忠澄 顕彰の会）
岡山市

六高道と五百大羅漢道

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区古京町一丁目5-29	

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

多言語での説明はこちらから
（英語、中国語、韓国語）

The multilingual version is available from here.

外国語用自治体入力、外国語用自治体入力、다언어 설명은 이곳에서

ろっこうみち　ごひゃくだいらかんどう

六高道と五百大羅漢道

岡山県立岡山朝日高等学校の校地は、かつて第六高等学校（岡山大学の前身の一つ）の校地でした。第六高等学校は明治33年(1900)に開校し、旧山陽道と第六高等学校正門の間に整備された道路は「六高道」という通称で親しまれていました。旧山陽道と第六高等学校の間は水田で土地が低かったため、六高道は土手道でした。

写真は昭和初年の第六高等学校の卒業アルバムから引用したもので、現在と全く異なる風景が広がっていたことが分かります。写真にも写っている石標（文政4年(1821)建立）は、操山の麓にあった少林寺羅漢堂の道しるべであり、参道がこの場所で六高道と交差していました。五百羅漢で知られていた羅漢堂には145体の羅漢木像が安置されていましたが、昭和14年(1939)に焼失しました。

（看板提案：岡山朝日高校同窓会）
岡山市

森下町と木野山神社

設置位置		表示内容
所在地	岡山市中区森下町43	

岡山歴史散歩 ―まちの歴史を知る―

多言語での説明はこちらから

The multilingual version is available from here.

もりしたちょう　きのやまじんじゃ

森下町と木野山神社

森下町は、戦国時代に宇喜多直家が築いた城下町で、山陽道を引き込み東入口に番所、惣門が置かれ森下口と呼ばれていました。その結果、森下町は城下町の東側玄関口として繁栄しました。

森下町公会堂前の社は、天暦9年(955)高梁市津川町今津に創建された木野山神社ご神霊をお祀りした分社です。明治12年(1879)にコレラ感染が流行り、「コレラに強い木野山さま」のうわさが拡がり、多くの人々に昼夜問わず参拝されました。現在、夏祭り前の木野山神社参拝が地域の伝統行事になっています。

（看板提案：森下町町内会）
岡山市